

2018年3月期 第3四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
 - 2) 決算のポイント
 - 3) 商品群別売上高
 - 4) 国内売上高
 - 5) 海外売上高
 - 6) トピックス
 - 7) 減価償却費と研究開発費
 - 8) 通期業績見通し
- [参考]商品群別売上高見通し

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2018年2月2日

1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2017/3 第3四半期 累計	2018/3 第3四半期 累計	増減率 (%)	
売上高	110,619	117,456	6.2	
国内売上高	83,011	86,766	4.5	
海外売上高	27,607	30,689	11.2	← 為替影響除く: +7%
営業利益	5,302	6,041	13.9	← 粗利率: 2017/3 Q3 48.5% → 2018/3 Q3 48.1% 販管費率: 43.7% → 43.0%
経常利益	6,046	6,981	15.5	← 為替差益: 2.5億円 → 4.6億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,825	4,262	11.4	← 法人税等の増加: 米国税制改正の影響約5億円

平均レート	(2016/12)	(2017/12)
1ドル	107.4円	111.6円
1ユーロ	118.6円	128.8円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 6.2%増

- ・国内：市場別の取り組みを強化した結果、病院市場、診療所市場ともに堅調に推移し、全ての商品群で伸長。
- ・海外：米州、欧州が好調に推移し、二桁成長。

営業利益：前年同期比 13.9%増

- ・増収効果で研究開発投資等の販管費の増加を吸収し、増益。
- ・原価率は、国内での大口商談、海外での売上増加に伴う外注費の増加により上昇。

純利益：前年同期比 11.4%増

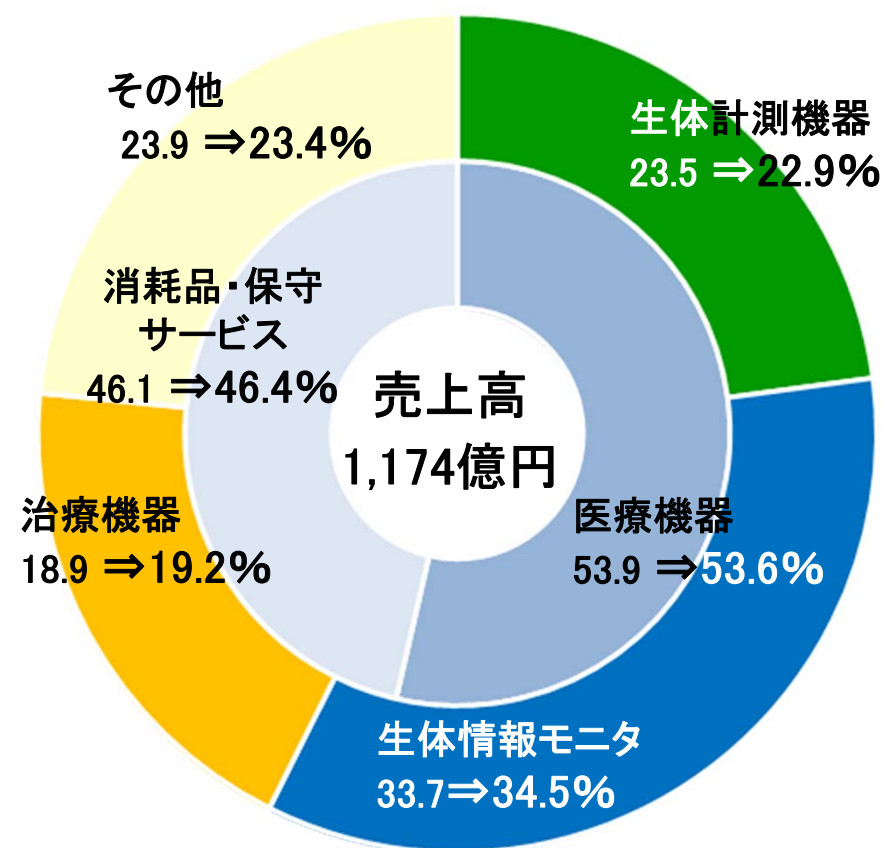
- ・米国税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しにより、法人税等が約5億円増加。

3) 商品群別売上高

(単位:百万円)

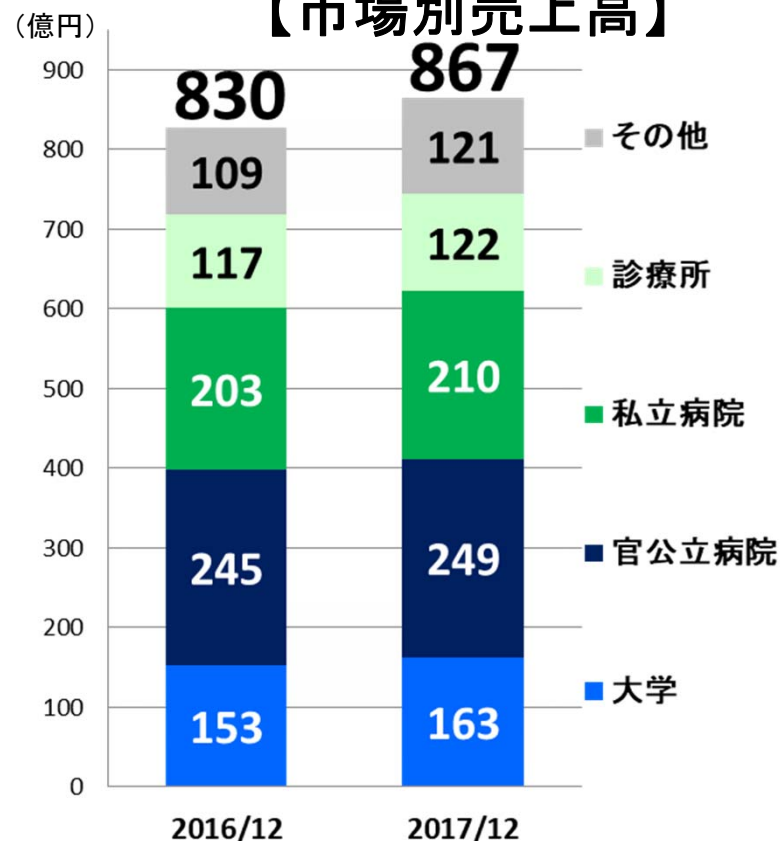
	2017/3 第3四半期 累計	2018/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	26,006	26,859	3.3
生体情報モニタ	37,232	40,559	8.9
治療機器	20,948	22,497	7.4
その他	26,431	27,539	4.2
売上高合計	110,619	117,456	6.2
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	50,956	54,485	6.9

商品群別売上構成比
(2016/12 ⇒ 2017/12)



4) 国内売上高

【市場別売上高】



【商品群別売上高】

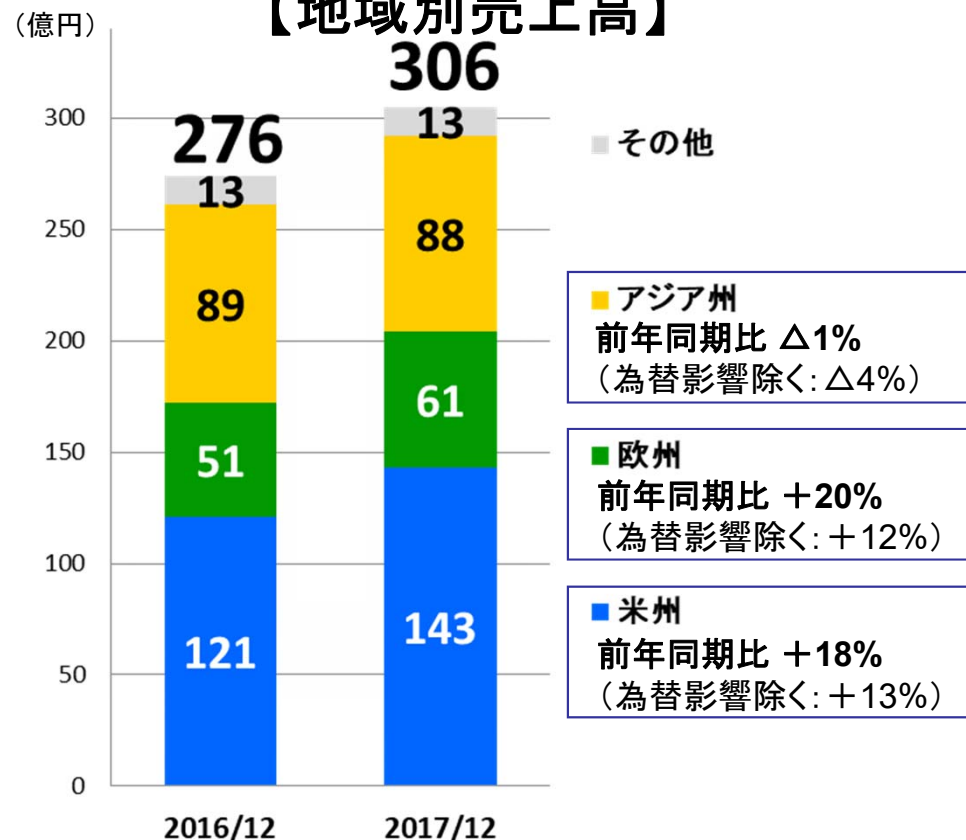
(単位: 百万円)

	2017/3 第3四半期 累計	2018/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	20,335	21,442	5.4
生体情報モニタ	24,448	25,680	5.0
治療機器	15,153	15,683	3.5
その他	23,074	23,961	3.8
売上高合計	83,011	86,766	4.5

- 【市場別】 病院市場、診療所市場ともに堅調に推移。特に、大学病院市場で生体情報モニタが好調に推移。
- 【商品群別】 生体計測機器： 脳神経系群は前年同期を下回るも、心臓カテーテル検査装置群が好調に推移。
心電計群、診断情報システムも前年同期を上回る。
- 生体情報モニタ： ベッドサイドモニタや臨床情報システムの更新商談もあり、好調に推移。
- 治療機器： 除細動器、AEDが好調に推移。
- その他： 画像診断装置が前年同期を上回る。

5) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2017/3 第3四半期累計	2018/3 第3四半期累計
25.0%	26.1%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2017/3 第3四半期 累計	2018/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	5,671	5,417	△ 4.5
生体情報モニタ	12,784	14,879	16.4
治療機器	5,794	6,814	17.6
その他	3,357	3,578	6.6
売上高合計	27,607	30,689	11.2

為替影響除く: +7%

【地域別】

米州: 米国では、生体情報モニタやAEDが好調に推移し、大幅に伸長。
中南米も増収。メキシコは低調に推移するも、ブラジルが好調に推移。

欧州: フランス、ロシアが好調に推移したほか、トルコが回復。

アジア州: 中国は新商品効果もあり増収となったものの、韓国、ベトナムが低調に推移。

【商品群別】

生体計測機器: 脳神経系群は米州、心電計群はアジア州で低調に推移。

生体情報モニタ: 米州、欧州で好調に推移。

治療機器: 除細動器は欧州、アジア州、AEDは米州で好調に推移。

その他: 血球計数器が米州、欧州で好調に推移。現地仕入品も前年同期を上回る。

6)トピックス

国内事業

ITシステムの機能強化 による競争力向上

臨床情報システム PrimeGaia

重症病棟・手術室など



NEW! 患者さんの安全管理のため、
早期警戒スコア機能※¹を追加

診断情報システム PrimeVitaPlus

検査室



NEW! 脳神経生理検査データネットワークシステム※²
を統合し、全ての生理検査を一元管理

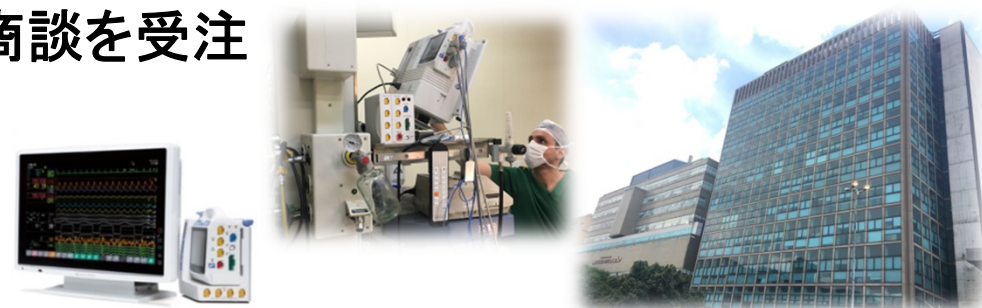
海外事業

ブラジルトップ病院で 生体情報モニタ商談受注

重要拠点病院への直販を強化、
当社独自技術のesCCO※³をアピール



サンパウロ大学Incor病院の手術室・ICU
商談を受注



※¹ NEWS (National Early Warning Score: 英国標準の早期警告スコア)を採用。患者さんのバイタルサインを点数化し、急変リスクを早期に発見。

※² 長時間脳波検査や術中神経モニタリングなど、大容量のデータ管理に対応。

※³ esCCO: estimated Continuous Cardiac Output。心電図とSpO₂から非侵襲で連続的に心拍出量を算出。

7) 減価償却費と研究開発費

(単位: 百万円)

	2017/3 第3四半期 累計	2018/3 第3四半期 累計	増減額	2017/3 前期実績	2018/3 予想	
					期初	11月6日 修正
減 価 償 却 費	2,461	2,417	△ 43	3,422	3,900	3,600
研 究 開 発 費	4,474	5,598	1,124	6,466	7,300	7,300
設 備 投 資 額				7,710	5,700	5,200

【2018/3期設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、本社(西落合事業所)改修工事8億円

8) 通期業績見通し

(単位: 百万円)

	2017/3 前期実績	2018/3 当期予想	増減率 (%)
売上高	166,285	175,000	5.2
国内売上高	124,764	128,000	2.6
海外売上高	41,520	47,000	13.2
営業利益	13,585	15,000	10.4
経常利益	14,053	15,000	6.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,149	10,200	11.5

海外売上高比率 25.0% 26.9%

平均レート (期初の想定)

1 ド ル	109.2円	110円
1 ユ ー ロ	119.3円	115円

【地域別海外売上高】

	2017/3 前期実績	2018/3 当期予想	増減率 (%)
米 州	18,953	22,500	18.7
欧 州	6,988	7,500	7.3
アジア州	12,639	14,400	13.9
そ の 他	2,938	2,600	△ 11.5
海 外 計	41,520	47,000	13.2

※ 第4四半期の前提為替レートは110円／米ドル、115円／ユーロです。

[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2017/3 前期実績	2018/3 予想 期初	11月6日 修正	増減率 (%)
生体計測機器	37,658	39,800	39,500	4.9
生体情報モニタ	56,117	59,100	61,400	9.4
治療機器	29,728	31,200	31,200	5.0
その他の	42,781	44,900	42,900	0.3
売上高合計	166,285	175,000	175,000	5.2

(ご参考)

消耗品・保守サービス	71,180	75,100	75,700	6.4
------------	--------	--------	--------	-----

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営戦略部

【連絡先】TEL03-5996-8003